

## ・家計の金融資産・借入金の状況

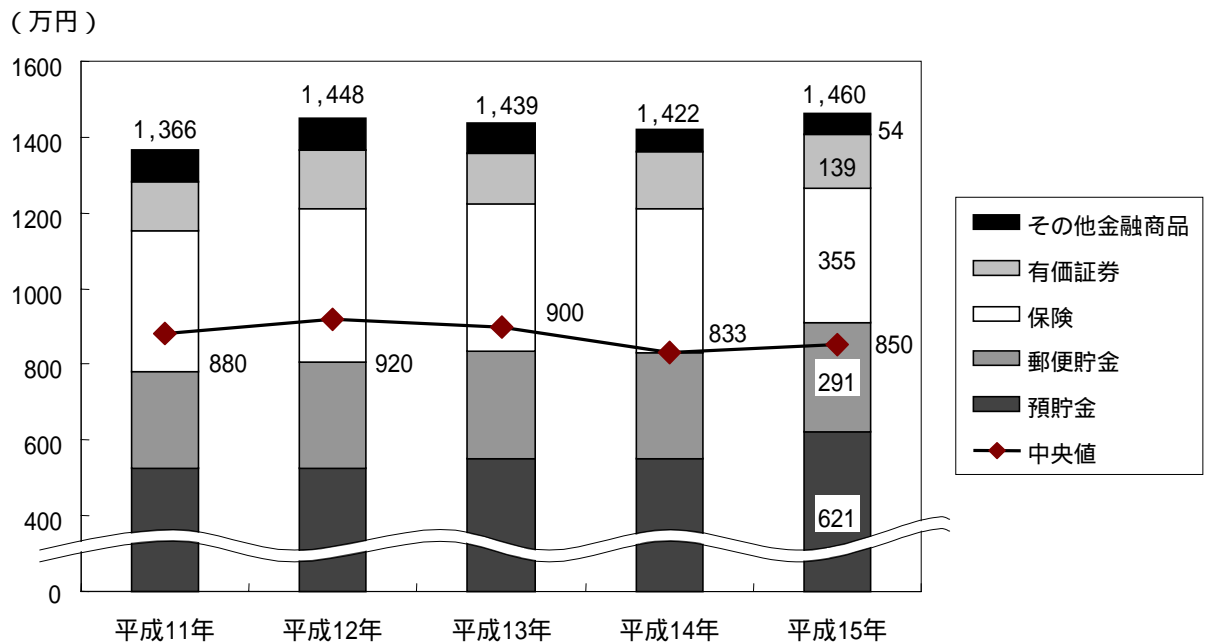
### 1. 金融資産の保有状況

- 金融資産保有世帯における平均額は、1,460 万円となり、過去最高額となった[図表 1]。また、中央値<sup>(注1)</sup>は、850 万円と前年(833 万円)を若干上回った。金融商品別にみると、預貯金(郵便貯金を除く)の構成比が最も高く4割強、次いで郵便貯金が2割弱を占め、両者合計では6割と、引続き前年並みの水準となった。
- 一方、貯蓄の有無については、2割強が「貯蓄を保有していない」と回答し、本調査を開始した昭和38年以來の高い水準となった[図表 2]。このため、全世帯ベース(「貯蓄を保有している」世帯+「貯蓄を保有していない」世帯)<sup>(注2)</sup>の金融資産保有額をみると、前年に比べ減少している。

(注1) 15ページの「【BOX】平均値と中央値」参照。

(注2) 16ページの「【BOX】残高のある世帯と全世帯」参照。

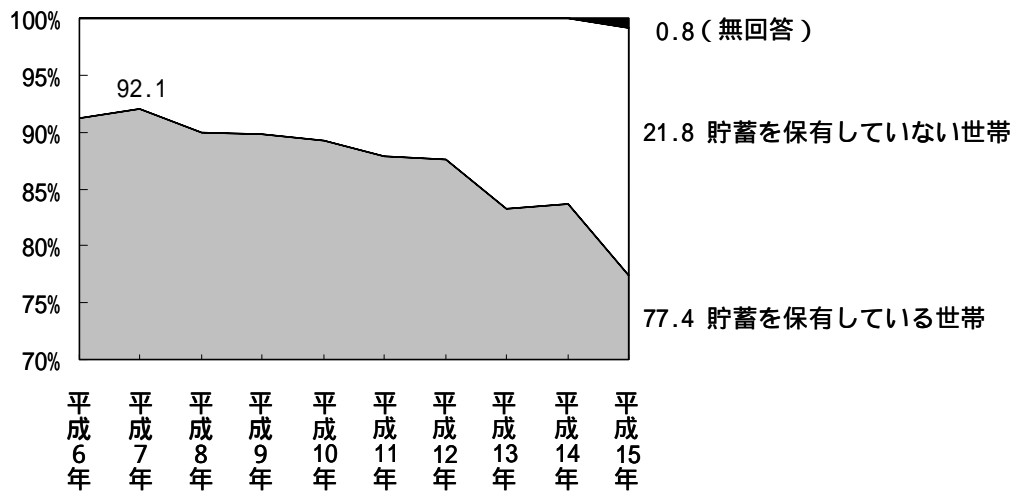
(図表1) 金融資産保有額<問3(a)>



(金融商品種類別構成比)

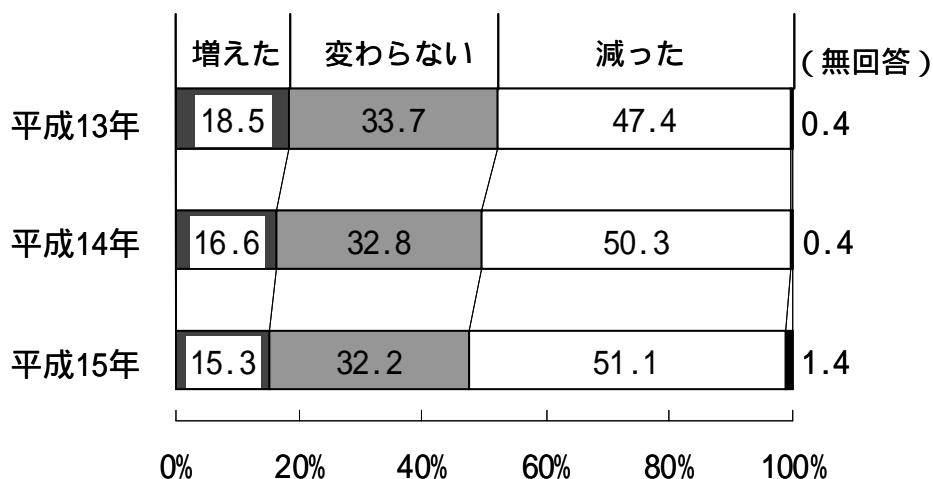
	保金融資産	預貯金				金貸付信託	簡易生命保険	損害保険	個人年金	有価証券	債券	株式	投資信託	財形貯蓄	金融その他
		除預貯郵便貯	定う期ち性	郵便貯金	預貯金										
平成13年	1,439	58.2	38.3	26.8	19.9	2.1	20.2	2.2	4.6	9.2	1.2	6.3	1.8	2.9	0.6
14年	1,422	58.3	38.7	24.8	19.6	1.7	19.5	2.7	4.9	10.3	1.6	6.6	2.1	2.3	0.4
15年	1,460	62.5	42.5	26.2	19.9	1.3	17.8	2.1	4.5	9.5	1.4	6.6	1.5	2.1	0.3
平成15年の実額	1,460	912	621	382	291	19	260	30	65	139	21	96	22	31	4
(前年差)	(38)	(83)	(71)	(30)	(12)	(5)	(17)	(8)	(4)	(8)	(2)	(2)	(8)	(1)	(2)

( 図表 2 ) 貯蓄の有無 < 問 2 >

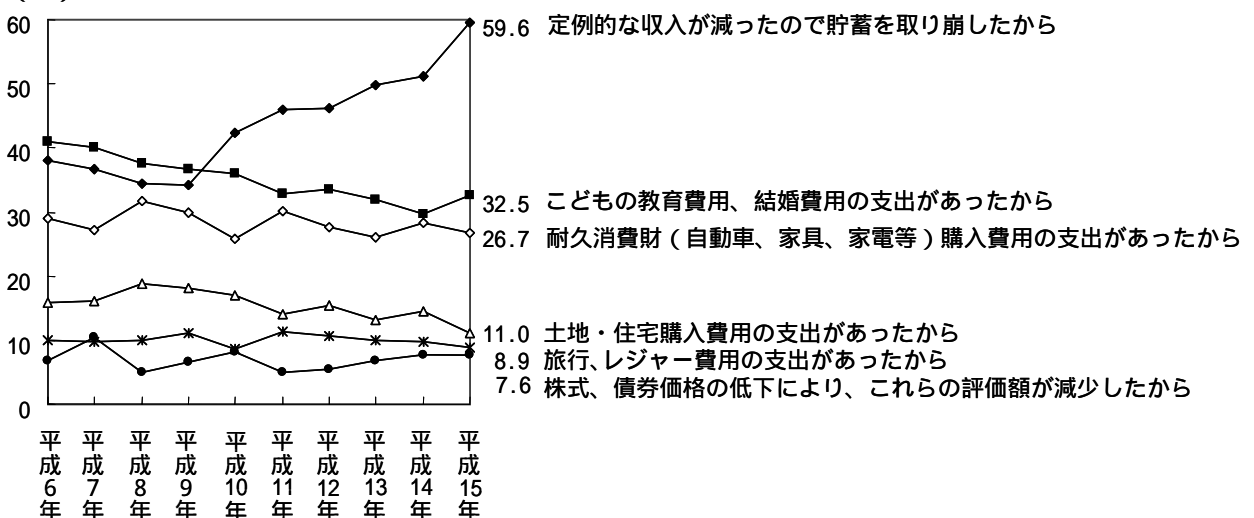


・ 現在の貯蓄残高が1年前に比べ「減った」と回答した世帯は、3年連続で前年比増加し、回答世帯の過半に達した[図表3]。貯蓄残高が減少した世帯では、その理由について、6割弱が「収入減による貯蓄取り崩し」と回答した[図表4]。

( 図表 3 ) 1年前と比較した貯蓄残高の増減 < 問 8 >



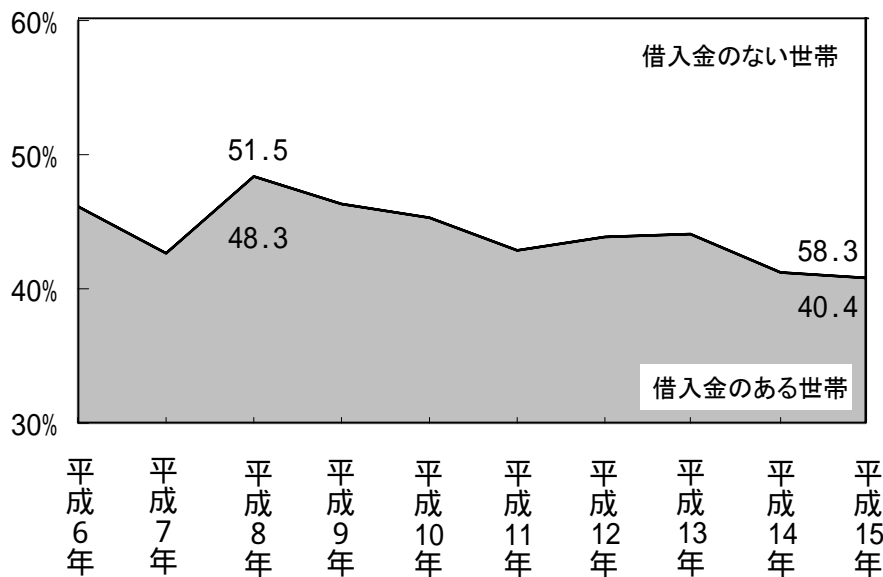
( 図表 4 ) 貯蓄残高が減った理由 ( 複数回答 ) < 問 9(b) > < 1年前に比べ貯蓄残高が減った世帯 = 100% > ( % )



## 2. 借入金

- 借入金のある世帯の割合は、ほぼ4割となっており、平成8年をピークに減少傾向にある〔図表5〕また、借入れ額は、1,247万円と前年を下回った〔図表6〕

(図表5) 借入金のある世帯<問20>



(図表6) 借入金額の推移<問21>

